

森林のおくりもの 富山和子

めあて

「森林のおくりもの」を読んで感想を交流し、学習課題を決めよう

初めて知ったこと

- ・木材は生活になくってはならない
- ・木は長生きする
- ・自分たちは江戸時代の雨水を飲んでいる

心に残った言葉

- ・地球の緑を守れ
- ・おくりもの
- ・かけがえのない遺産

もっとくわしく知りたいこと

- ・他の森林のおくりもの
- ・砂漠化
- ・緑を取り戻す方法

筆者の考えについて

- ・森林を大切にしよう
- ・森林を守らなければならぬ

伝えたい思いを
意見文に！

もっとくわしく知りたいことを

調べて意見文にまとめよう

1 / 15 時間目 指導路案 ワークシート
活動のねらい

「森林のおくりもの」の初発の感想を交流させ、学習課題を決定することができるようにする

1 「森林のおくりもの」という題名からイメージするものをウェビング図で考えながら話し合う。

「森林のおくりもの」と聞いて児童がイメージするものを付せん一枚ずつ書かせる。その付せんを使って黒板に貼った広用紙にウェビングしながら、全体で話し合わせ、イメージを広げさせる。単元を通して「おくりもの」というキーワードを常に意識して読ませることで、作者のメッセージを読み取らせていく。

2 「森林のおくりもの」の範読を聞き、四つの視点で感想を書く。

- ・初めて知ったこと
- ・心に残った言葉
- ・筆者の考えについて
- ・もっとくわしく知りたいこと

3 感想を交流し合い、筆者の意図を考える。

(発問) 筆者は、読み手に何を訴えたかったのでしょうか。筆者は自分の考えを伝えるために、事実や読み手の心に残る言葉を使って「森林のおくりもの」という意見文を書いていることを確認する。

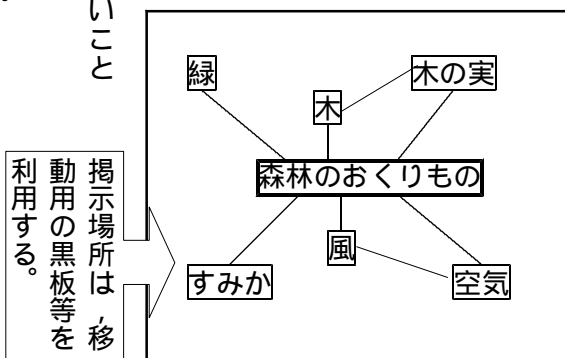
【評価】学習課題を決めるために、積極的に話し合いをしている。

4 学習課題を決める。

「森林のおくりもの」を読んで、もっと知りたいと思ったことを調べ、意見文に書くという学習課題を決める。

5 次時について知る。

次時は、本時の学習をもとに学習課題を設定することを知らせる。



「おくりもの」ウェビング例